

光は、いつもそこにあります

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2254号
(2009年12月30日発行)より

私のふだんの起床は、2時半から3時です。4時間ほど眠ると、自然に目が覚めるのです。(ちなみに、日中、30分～1時間ほどの仮眠をとります)

そんな朝(ひとによっては、深夜ともいいますが)のことです。

目が覚めると、西の窓から、明るい光がさしこんでいました。まもなく満月になろうとしている、月の光でした。

レースのカーテン越しに、それは、こうこうと明るく、強くたしかなエネルギーを、注いでくれているのでした。

私は、電気をつけるのも忘れて、し

ばらくその光を見つめていました。

ああ。私たちは、満たされている…。ひたひたと、そんな気持ちが湧いてきました。

本当に、それだけで、あとは何もいなくなるような…。こころのくもりが、ずっと、洗われていくような…。

今年も1年、さまざまな活動、仕事をしてきました。さまざまな思いをいできてきました。

うまくいったこともあれば、いかに感じたこともありました。うれしかったこともあれば、うれしくは感じられなかったこともありました。

それらすべてを包みこんで、月のエネルギーは、私をやさしく浄化してくれるかのようでした。

私自身もまた、その、月のエネルギーを素直に受け取り、洗われるままにまかせたのです。

何があっても、ひとは生きていきます。何があっても、ひとは生きていきます。とてもそうは思えないときがあったとしても。

いつでも、どんなときでも、この宇宙のエネルギーは、私たちを包み、守り、いやしてくれます。

私たちは、いつでも、どんなときでも、それを、まるごと、受け取っていいのです。

新月のときも、半月のときも、三日月のときも、満月のときも、月は、月として完全な存在です。

それと同じように、うまくいっているときも、いっていないと感じるときも、幸福なときも、幸福とは感じられないときも、私たちは、いつでも、完全な存在なのです。

暗闇を照らす光は、そのことを、私に教えてくれていたのです。

何かをしようとしなくても、私は、

ただそれを受け取るだけでよかったです。宇宙は、それほど完全なのです。

もしもよかったら、このことを、どうぞ覚えていてくださいね。

私たちは、どんなときでも、どんなところからでも、真実を受け取ることができます。

そして、同じだけ、受け取らないでいることもできます。

そのどちらを選ぶのも、あなたの自由なのです。

光は、いつもそこにあります。あとは、あなたの選択次第なのです。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、2003年11月1日創刊。2009年4月、2000号達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>